

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	放課後等デイサービス ノーサイド(児童発達支援)	公表日	令和8年 4月 30日
------	--------------------------	-----	-------------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0	2階の空間は少し狭いが、バギーから降りて過ごせるようなスペースを作っている。	・曜日によって人数が多い日もありますが、十分なスペースが確保されています。 ・安全確保に努め物品の配置等を検討していく。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	3	日によって職員数のばらつきはありますが、職員数は多く配置している。	急なお休みなどの際に、子どもたちの安全をしっかり確保できるように協力体制をより整えていく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	1	車椅子でも安心して移動等ができる環境になっている。また、立位などを取りやすくするために、手すりなどを多く備え付けている。	引き続き、環境整備を行っていく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	1	毎日、清掃は行っている。 また、子どもたちの安全に配慮できるようにしている。適宜、冷暖房や加湿器等個々の状態に合わせて、使用しています。	長く使用しているものなどに関しては、買い替えなど、環境整備を引き続き行っていく。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	必要に応じて場所の移動やクールダウンできる空間があります。	引き続き、個別対応できるよう環境を整える。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	2	6		PDCAサイクルの取り組みが一部の職員となっている為、より多くの職員が参画できる全体会議等、開催していきます。ミーティング等で目標設定、振り返りを行い共有できるようにする。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	2	保護者からのご意見を共有し、出来る部分に関しては直ぐに改善につなげ、難しい点については、検討する場を設けている。	面談時や、ぶらぶら会等保護者と交流やお話をする場を設けている。その機会を定期的に行うと共に、保護者の意見や意向などを確認できる機会を増やしていく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	3	定期的に職員会議を開催し、意見交換を行っています。また個別に意見等を把握し、問題解決や改善に繋げています。	職員の意見を把握し共有していく。 引き続き、業務改善に努めていきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	6	第三評価は受けていません。	第三評価は行っておりません。 外部評価や業務改善への取り組みがまだ不十分です。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	1	研修等を実施し、職員の資質向上できるように努めている。	引き続き、内部・外部研修に参加するよう進めていきます。研修に関して職員に参加してもらいやすい様に工夫していきます。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	1	支援プログラムを作成し、ホームページにて公表しております。	公表については再度周知致します。
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8	0	日々の支援状況を確認し子どもの様子、保護者、相談支援員等の情報なども含めニーズや課題を分析した上で作成しています。	定期的アセスメントを行い、支援計画に反映していく。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	2	日々子供たちと関わりのある職員から情報収集し、ニーズや課題を検討したうえで作成しております。	日々の療育記録を参考にしながら、ミーティング含めお子様の様子・検討事項を適宜、スタッフ間で聞き取りを行っています。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	4	個人ファイル等は全体的に閲覧できるようにしています。プライバシーに配慮しながら、LINE等で個々に必要な支援情報を共有しています。	計画に沿った支援が出来ているところもあるが十分でないところもある為、共有して支援できるように取り組んでいきます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	4		日々の療育記録を記入しています。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	1	保護者、本人とのお話しの機会を送迎時の少しの時間なども使い、情報を得ようとしている。またその中から、日々の課題点なども含め、支援内容を設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	2		職員間で、プログラムの作成に取り組んでいます。

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	1	季節に合ったプログラムを実施できている。	プログラムの内容を繰り返し行うのも大事だが、パターン化しないよう努めています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	0		定期的に計画を見直し、子どもの成長や変化に合わせて支援内容を調整しています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	2		支援開始前に出来る限りミーティングを行い、子どもの情報などを職員間で共有し、チームケアが行えるよう、引き続きおこなってまいります。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	4	就業時間がバラバラになるため、業務終了後には出来ないが、前日の事も含めミーティングを行い、確認事項などを確認している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	1		日々の支援に関して、記録をとることを徹底し、課題や改善に取り組んでいます。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	1		よく理解しているスタッフが参加しているが、逆に同じスタッフが参加することが多いので、色々なスタッフが参加できるようにしていきます。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	1	各関係機関との連携をし、情報をしっかり得て支援に当たるようにしています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	3		学校の先生とは情報共有などを行っている。また、その情報も保護者の方とも共有し、相互理解をとれるようにしています。今後も情報共有の徹底を行ってまいります。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	3	事前に学校や各機関などとの連携を行い、情報共有や、スムーズに移行できるような担当者会議等を行っています。その中で、相互理解に繋がれるようにしている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	6		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	6	外部イベントなどに参加し、地域との交流をもてるようにしています。	地域の保育園や幼稚園など訪問を行えるような機会に努め、今後地域のイベントへの参加などを行っていただけるようにしていきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0		送迎時に詳細を保護者に丁寧に伝え、情報共有を行うことができています。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	3		研修の機会を多く増えるようにしていきます。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	3		ご契約時に運営規定や利用料に関する説明を行っています。不明な点につきましては、個々に対応させていただきます。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	1		通所時や、面談時、送迎時など情報交換や、意見を頂く機会が多いです。

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	1		面談時に支援内容を伝え同意を得た上で計画を作成しています。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0		定期的に面談を行い、送迎時やイベント等で保護者様のご意見を傾聴し、保護者様に寄り添いながら一緒に考え、助言を行うとともに支援につなげています。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	0	イベント時に保護者様やご兄弟の交流ができています。	イベント等で保護者様やご兄弟等お会いする場面はあります。引き続きイベント等を行っていく。
	40	ごどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、ごどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	1		相談窓口を明確にし、いつでも相談できる体制をさらに整えていく。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をごどもや保護者に対して発信しているか。	8	0	InstagramやSNS等で発信をしている。	通信やホームページ等で活動の様子をご覧いただくことができます。更新頻度を上げ、日々の様子が保護者様にもっと伝わるように発信をしていきます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0		個人情報については鍵付きの書面に保管されています。十分な配慮を行っています。
	43	障害のあるごどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	一人一人、コミュニケーションの方法を職員間で共有しています。	情報共有ツール等を使い、保護者の方から頂いたご意見を職員全体に共有させて頂いています。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	6		地域の方に参加して頂ける行事や交流の機会を少しずつ増やしていくよう行います。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	1		各種マニュアルを整理し、それに伴った訓練を行い緊急時に対応できるように致します。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0		地震・火災・水害等の避難訓練を年に3度実施し、避難所として発電機等を備えています。水消火器を使用した訓練やAEDの使用について学んでいます。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のごどもの状況を確認しているか。	8	0	服薬や発作対応について職員間で情報共有をしている。面談やご利用時に保護者様からご提示のご協力を頂いています。	保護者からの事前情報を適宜、情報交換を行っています。情報更新のタイミングで定期的な確認が重要となるため、引き続き、保護者様との情報共有を行っています。
	48	食物アレルギーのあるごどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	2	アレルギーの有無を事前に確認し、安全に対応している。	アレルギーのある利用児については個人ファイルやアセスメントシートなどに記載し、情報共有しています。引き続き、全職員への周知を徹底し、最新の注意を払ってまいります。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	2	安全計画に基づき、定期的に研修や訓練を実施している。	継続的に安全意識を高める研修や、必要な設備・環境の見直しを行っています。
	50	ごどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	3		安全計画の内容を家族に説明し、分かりやすい資料にまとめ、より理解と協力をお願いする。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	毎月一回、安全委員会の場で情報共有する場を設けており、報告や対策について話し合っています。職員間での共有も行っています。	会議の内容を元に具体的な改善策を実施し、効果の検証を周知していく。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	1	定期的に研修を実施し、虐待防止の意識向上と対応方法の確認を行っている。	さまざまな事例を用いた研修を増やし、対応力の向上を図っていく。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、ごどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	2		稀に身体拘束が必要な場合につきましては、保護者様の聞き取りや同意を得た上で実施しております。	